

「明るい社会を作るために…」

栗原市立鶯沢小学校 6年

蘇武 夕絵さん

わたしは、犯罪がこわいです。なぜなら、犯罪は、必ず人を傷つけます。それだけではなく、犯罪を行った本人、周りの人達まで不幸にします。だからこそ、犯罪を起こさない環境作りが必要だと思っています。

その一つ目の環境が、家庭であり、家族の支え合いです。わたしの家は、六人家族です。祖父と祖母は、家にいる時間が多いので、家族みんなで

「電話のさぎに気を付けてね。」

と、しょっちゅう話しています。そして、電話のそばに『ちょっと待った、その電話』のシールを貼り、変な電話に注意するようにしています。

わたしは、最近まで、こんな田舎にさぎの電話なんてこないと思っていました。ところがそれは、大きなまちがいでした。友達が、

「わたしの家にさぎの電話が来たんだよ。」

という話をしていました。

(わあ、やっぱり田舎だから、さぎの電話がこないというのは、まちがいだ。)

そして、改めて気を付けないと思いました。

電話だけではありません。家を留守にする時は、

「出かけるとき、カギかけて。」

を家族みんなの合い言葉にしています。愛犬ラッキーも留守の家をきちんと守ってくれています。

最近、小学生のゆうかい事件も多く聞かれます。わたしは、母から防犯ブザーを持たされました。それでも、家に帰るまでの道が細く、こわい場所もあるので、どきどきしながら歩くときがあります。

しかし、わたしの地域の人たちは、

「おかえり。」

「今日は、おそかったね。」

などと声をかけてくれます。そう言われるたびに、地域の人たちの温かさが伝わってきます。それだけではありません。駐在所の警察官の方も、いつもパトロールをしてくれ、私たちを守ってくれています。近所のお店には、110番のプレートが設置され、とても安心できます。

このように、家族で支え合いながら犯罪が起きない環境を作り、地域でも多くの目で見守り、犯罪が起きない環境を作っています。

そして、これからはもう一つ、大切なことがあります。それは、いつでも、犯罪に巻き込まれないような賢く、強い心を持つことです。今まで、支えられ、守られてきた私達です。しかし、これからは、支え、守る側にならなければいけません。地域を守り、明るい社会を作るのも私達です。だからこそ、賢く、強い心を持てるように、多くのことを学び、日々成長することが必要です。

私は、声を大にして言いたいのです。

『未来の明るく、安心して暮らせる社会は、この私たちの手にかかっています。』